豊かな生命あふれる草原を

秋吉台草原ふれあいプロジェクト 平成27年度(2015)報告書概要版

西日本最大級のカルスト台地・秋吉台では、毎年 の山焼きで広大な草原が維持されており、山焼きの 作業や草原の風景そのものが観光資源となっていま す。また、草を畑や牛の餌に利用する慣習も美東町 の集落を中心に残っていて、古くから草原を利用し てきた地元の文化を知ることもできます。さらに、 全国的にも数が少なくなった草原特有の動植物のす みかとしても重要です。

本プロジェクトでは、秋吉台の草原景観とそこに すむ生きものを守り、草原と人が関わってきた文化 を次世代につなぐことを目的に、草刈り作業や学校 の草原学習に取り組んでいます。

2015年度は以下の3つのプロジェクトと高校生や小学生の草原学習に取り組みました。



秋吉台北東部の地域では、梅雨明け 頃に草原の草を刈り、その草をサトイモの根元に敷 き詰め、芋の日焼けや乾燥を防いでいます。その草 刈り跡では多くの花が咲くことがわかっています。

お花畑プロジェクトでは地元の伝統に習って7月に草を刈り、秋に咲く花を増やすようにしています。 刈った草はすべて持ち出し、集落の畑に使ってもらいました。草刈り場所を毎年替えるため、3年に1度の草刈り頻度ですが、草を刈った年の秋は刈らなかった年よりも明らかに多くの花が咲きました。



秋の観察会では、草刈り跡地と草を刈らなかった 場所で、花の数を実際に比較しました。その後、オカリナ鑑賞をして和やかな時間を過ごしました。







高校生の草刈り体験学習

2012年から、秋吉台青少年自然の家が窓口となって、県内の高校生が草刈り体験学習に取り組んでくれています。

本年度は、山口農業高等学校の生徒さんと先生が が作業をされました。秋吉台の草原についての説明 を聞いた後、先生方が刈り払い機を使い、高校生が その草を集めて束にしていきました。 7月に刈る草は夏の間にサトイモの根元に敷いて使われますが、今回は初秋の草刈りなので、春先にナガイモやコンニャクなどの根元に敷くのに良いということでした。



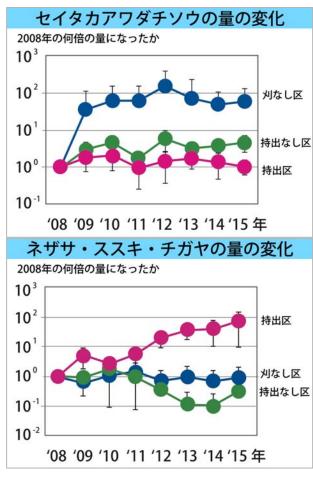
草原の復元プロジェクト

多くの観光客が訪れる長者が森のすぐ東側には、セイタカアワダチソウが繁茂する区域があります。ここは1991年時点ではクリ園であり、放棄された後は丈の高い草と樹木が生い茂る場所でした。2008年に刈り取り作業を始めると、樹木は



衰退しましたが、代わりにセイタカアワダチソウが 繁茂しはじめました。

2010 年からは年2回の草刈り作業を行っています。刈った草を持ち出した場所ではセイタカアワダチソウを中心とする外来植物は増えず、逆に、ネザサ、ススキといった草原の植物が少しずつ増えています。今年度は特にチガヤの生える面積が増えました。サワヒヨドリの花も初めて咲きました。





また、山口大学農学部による土壌分析の結果、外 来植物が繁茂する原因となっている土壌中の栄養分 が、草刈り作業で草を持ち出すために減ってきてい ました。同時に土壌の酸性化も進み、外来植物にとっては苦手な環境になりつつあることがわかりました。このまま草刈り作業を続けることで、草原の植物にとって良い土壌環境を取り戻せる可能性が見えてきました

山口大学農学部・藤間研究室による土壌分析



刈った草を持ち出す区域では、植物の栄養となる リンが減ってきた。



刈った草を持ち出す区域では交換酸度が高くなり、 外来植物が繁茂しにくい状況になりつつあった。





追加の山焼き (山焼き応援プロジェクト)

本年度の山焼きは、悪天候のため延期が重なり、 平日の開催となりました。全体としてはよく燃えま したが、長者ヶ森周辺には例年通り燃え残りが生じ ていました。燃え残った場所は有機物がたまってく るため、草丈がだんだん高くなります。高い草に覆 われると地面近くは暗くなり、生きものがどんどん 少なくなってきます。また、草丈が高いとさらに燃 えにくくなる悪循環が生じます。

そこで、本プロジェクトでは、長者ヶ森の東側と 北西側のドリーネ、クヌギの多い斜面で燃え残り整 備を行っています。枯れ草がなくなることは美観上







も好ましいことです。

火入れは消防署の許可を取って行いました。作業者は一般の見学者と区別するため、赤いキャップをかぶりました。燃え残った草をいったん刈り倒してから丁寧に火を着けていき、枯れ草が目立っていた場所もきれいに整備ができました。

をしなかった場所よりも、花の種類が増えていました。その後、長者ヶ森の中でカゴノキの樹皮パズルや、秋の花や虫たちの観察も行い、楽しい時間を持てました。

秋吉台の自然に親しみ、草原を守る体験が子供達 の記憶に残るものになればうれしいです。



小学生の草原学習



地元の子どもたちにももっと秋吉台のことを知ってもらおうと、2012 年度から秋吉小学校 4 年生の草原学習を受け入れています。

自然観察の時間では、草原を歩きながら虫や花を 観察しました。小学生は講師の話を熱心に聞きメモ を取っていました。また7月には草刈り体験にも取 り組み、10月に草刈り跡で観察をしました。草刈り







秋吉台草原ふれあいプロジェクト http://akiyoshidai.org/ 事務局: 秋吉台エコ・ミュージアム 〒754-0302 山口県美祢市美東町赤 Tel&Fax:08396-2-2622 E-mail: staff@akiyoshidai.org